

年間学習指導計画作成資料 第3学年〈2・3下〉【サンプルA】

題材名	題材のねらい	指導事項	目標に関わる主な窓口	教材名 (●鑑賞教材 ◎器楽教材)	学習の目標 (教科書掲載)	扱い時数のめやす
日本の歌の美しさ	・歌詞にこめられた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫する。	歌唱—ア・イ	リ 旋 強 — — — 旋 強 色	花 (心の歌) — — — — — — 花の街 (心の歌)	歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう。 — — — — — — 詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現しよう。	2
曲種に応じた歌い方の工夫	・楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現をする。	歌唱—イ — — — 歌唱—ウ	リ 旋 強 — — — — — — 旋 テカ	L-O-V-E — — — — — — ここが分かれば Grade up! — — — 上を向いて歩こう	曲の感じに合った声で、リズムを工夫して歌おう。 — — — — — — 言葉によって変化するリズム — — — — — — 曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。	3
リズムパターンで構成する音楽の楽しみ	・リズムパターンに関心を持ち、パターンどうしを組み合わせる演奏したり、全体のまとまりを工夫しながら音楽を構成したりする。	器楽—ウ (創作—イ) — — — 器楽—ウ 創作—イ (器楽—イ)	リ テカ — — — 形・構 色 — — — リ テカ 強 速 形・構 色	◎テキーラ (アンサンブル セミナー) — — — — — — ◎打楽器のための小品 — — — Let's Create!	曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。 — — — — — — — — — — — — 楽器を使って、2人のやりとりをアンサンブルにしてみよう。	3 2
世界各地の楽器の音楽	・諸外国の音楽に接し、それらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどを感じ取り、楽器の特徴を理解して聴く。	鑑賞—ウ	リ 旋 テカ — — — 色	●世界の諸民族の音楽	世界各地の楽器の演奏を味わおう。	2
ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫	・さまざまなポピュラー音楽について、それらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり、表現の工夫に生かしたりする。	鑑賞—ウ — — — 器楽—ア・ウ	リ 旋 テカ — — — 色 — — — リ 旋 テカ 強 速 形・構 色	●ポピュラー音楽 — — — — — — ◎トリスターザ — — — ◎コンドルは飛んで行く他	ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。 — — — — — — — — — — — —	4
名曲の鑑賞とプレゼンテーション	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表してコミュニケーションをとる。	鑑賞—イ — — — 鑑賞—ア	旋 テカ — — — 速 色 — — — リ 旋 テカ 強 速 色	●ブルタバ (モルダウ) — — — — — — ●白鳥の湖／●フィガロの結婚	オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取る。 — — — — — — — — — — — — 曲のよさをプレゼンテーションしてみよう。	4
日本の心、イタリアの心を表	・調や速度、強弱などの音楽を形づくっている	歌唱—ア	旋 速 色	帰れソレントへ	調や速度の変化を生かした表現を工夫しよう。	3

す歌の味わい	要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す歌の味わいや歌詞との関連を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。		強 形・構	早春賦（心の歌）	う。 強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。	
日本の伝統音楽の味わい	・雅楽や能の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴く。	鑑賞—イ・ウ	リ 旋 テク 速 色	●平調「越天楽」／●羽衣	日本の伝統音楽に親しもう。 —雅楽と能の音楽—	2
混声合唱へのステップ —さまざまな曲想の表現—	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	歌唱—ウ 歌唱—ア・イ・ウ	旋 テク 強 形・構 テク 強 形・構 色 リ 旋 テク 強 速 形・構 色	風の中の青春 自由への讃歌 全校合唱・ふるさと 心通う合唱	曲のしくみを理解して表現を深めよう。 強弱の変化を生かして合唱しよう。	3 7
				〔国歌〕君が代		時数合計 35

※「特集 ルールを守って音楽を楽しもう！」については、適宜指導計画に含める。